

4 番（小川義昭君）

最後の質問に入ります。

潜在保育士の復職支援策についてお伺いいたします。

保育士の資格を持ちながら就業していない、いわゆる潜在保育士の現場復帰を促す対策について、民営化に際し、市としても力を入れるべきではないでしょうか。

保育士は、政府自治体が推進するワーク・ライフ・バランス、仕事と家庭の調和の支え役であり、潜在保育士の掘り起こしは時代の要請とも言えます。それは、大都市圏で深刻な待機児童の解消を図るためだけではありません。ほとんどが女性で占められる保育士も結婚、出産などを機に退職するケースが多いのが現状であります。子育てに一区切りをつけた潜在保育士の復職は、延長保育や休日、夜間保育、一時預かりなど、多様で質の高い保育サービスを提供していく上で、重要性を増していくものと考えられます。これには保育技術を高める研修機会や保育士の処遇改善の努力なども求められるでしょう。

本市における潜在保育士の現況と復職支援策の方向をお聞かせください。